

「平和について考えよう」

みなさん、おはようございます。

3月には、日本にとって忘れてはいけない出来事があります。

1945年3月10日は、東京大空襲があった日です。

戦争の中で、東京の町にたくさんの爆弾が落とされ、火の海となり、多くの人の命が失われました。

そして2011年3月11日は、東日本大震災が起きた日です。

大きな地震と津波によって、たくさんの町が大きな被害を受け、多くの人が亡くなりました。

どちらも、たくさんの命が失われた、とても悲しい出来事です。そして今、世界の中では、戦いが起きている地域もあります。アメリカ合衆国とイランの関係も緊張が続いています。

戦争とは、難しい言葉で説明するといろいろありますが、とても簡単に言えば、人と人が武器を使って命を奪い合うことです。つまり、戦争は人が人を傷つけ、命を失わせてしまうものです。だからこそ、昔の人たちは、戦争の悲しさを経験して、「もう二度と同じことを起こしてはいけない」と強く願いました。

みなさんは今、友だちと話したり、笑ったり、勉強したり、遊んだりしていますね。

その平和な毎日は、とても大切に、世界中の人が願っているものです。

3月10日、そして3月11日には、亡くなった方々のことを思いながら、

- ・命を大切にすること
- ・周りの人にやさしくすること
- ・争いではなく、話し合いで解決しようとする

を少し考えてみてください。みなさん一人一人が、やさしい気持ちをもつことが、未来の平和につながっていきます。

これで校長先生のお話を終わります。